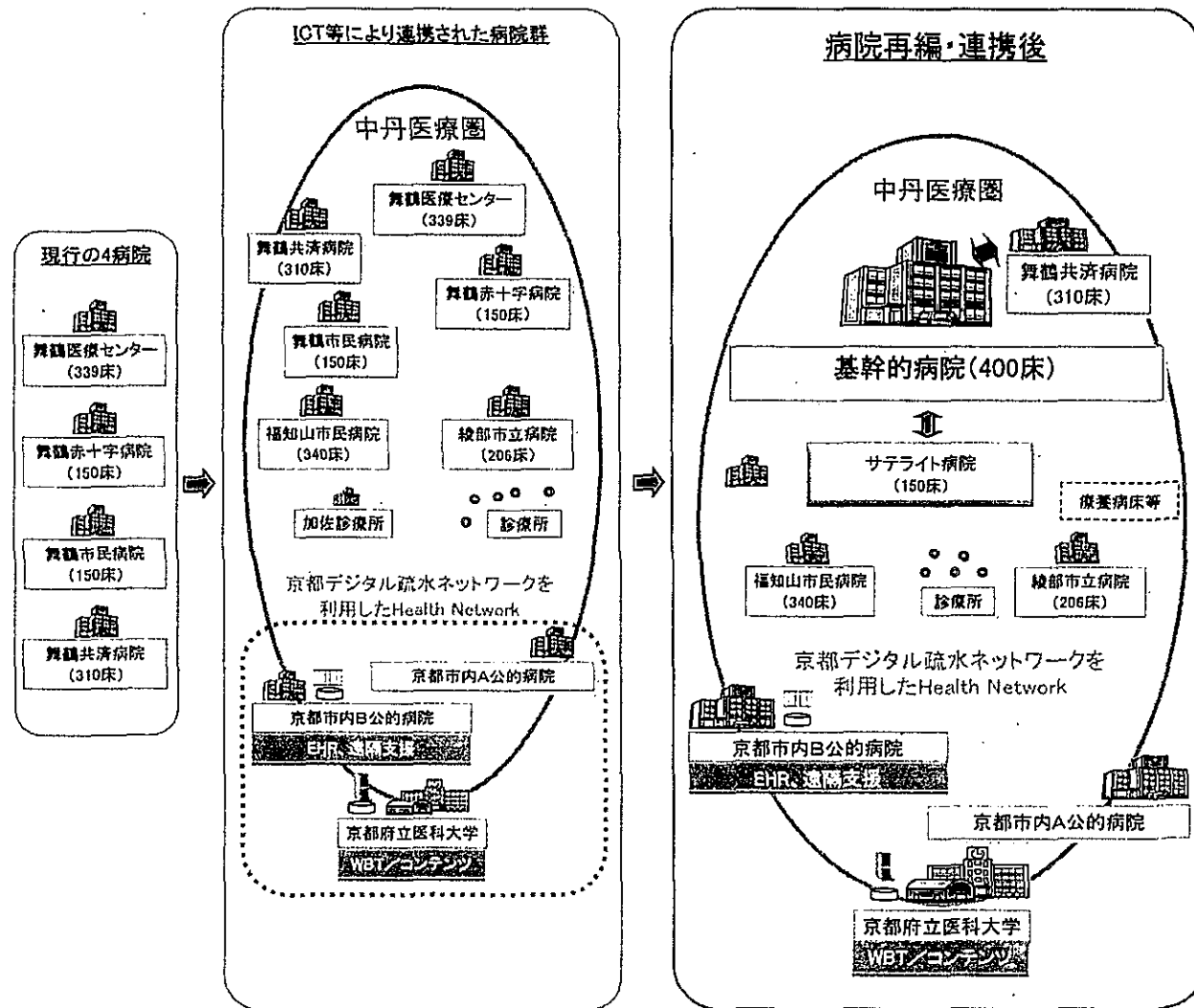


京都府・中丹地域医療再生計画（再編・連携による高次の救急医療を担う基幹的病院の創設）



大阪府地域医療再生計画「泉州医療圏」

安定した医師確保に向けた病院の機能再編

(南部における公立病院の機能再編)

《課題》

- ・泉州医療圏の医療提供体制は、府内でも相対的に脆弱
- ・総じて南部の医療機能がより脆弱
- ・地域医療の中核を担うべき南部の公立病院の医療提供機能が低下

『医療圏全体の医療水準の向上のためには、南部の医療機能の底上げに重点化が必要』

『とりわけ、南部の公立病院の機能再生への取り組みがキーポイント』

周産期医療体制の拡充

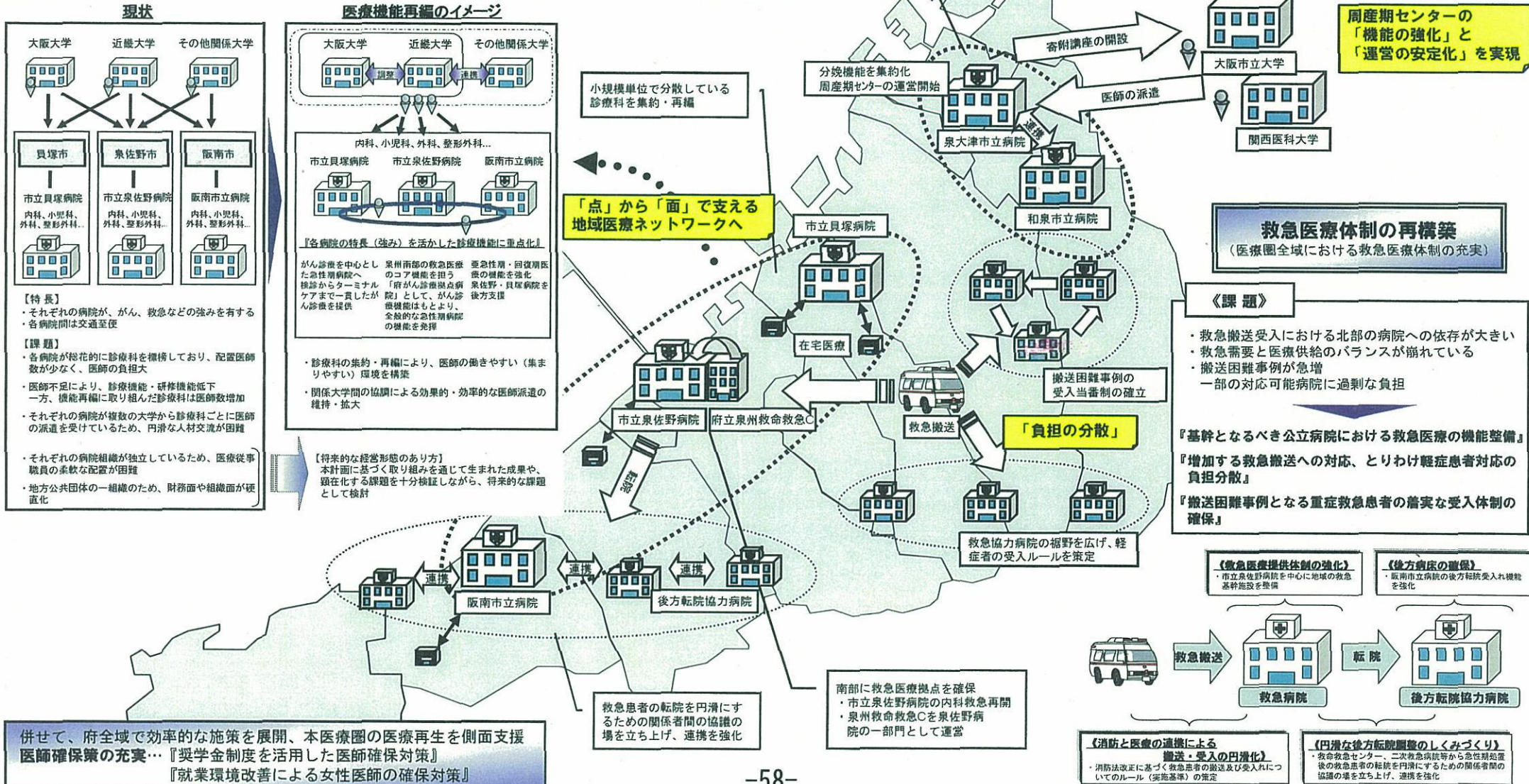
(北部における公立病院の連携強化)

《課題》

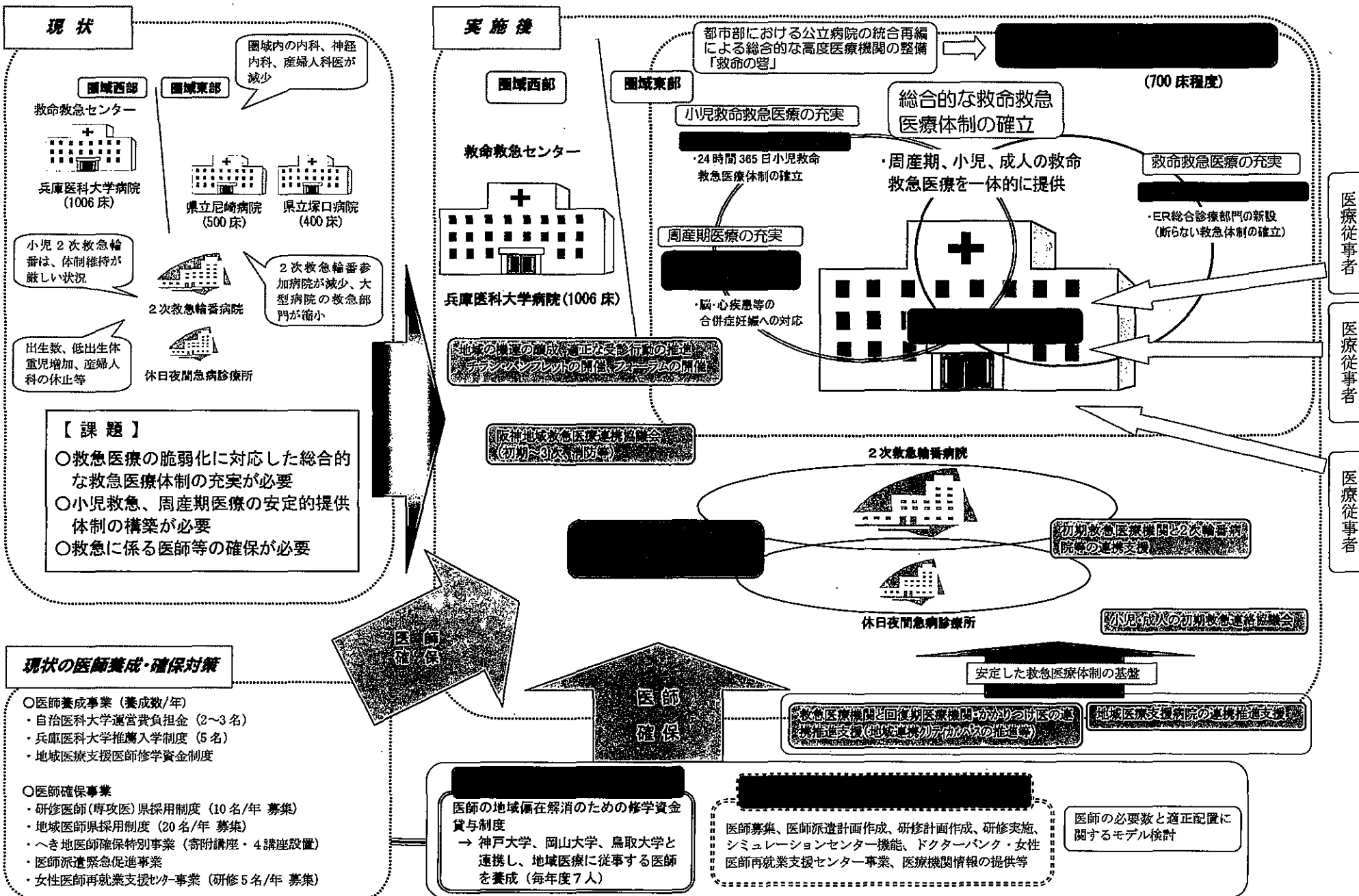
- ・ハイリスク分娩の増加傾向が顕著
- ・市立泉佐野病院（地域周産期母子医療センター）のNICU稼働率がほぼ100%

『安定的にハイリスク分娩に対応するため、周産期医療提供体制の充実に向けた取り組みが急務』

『北部に開設された周産期センターの機能強化が必要』

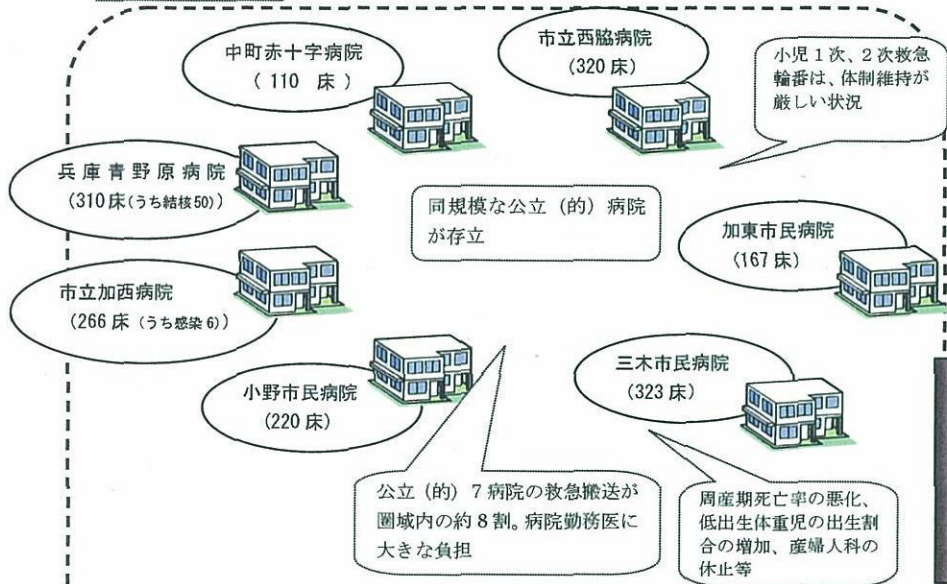


兵庫県地域医療再生計画（阪神南圏域、小児・周産期、救急医療等の総合的な診療機能体制の充実、及び、医療人材育成システムの構築）



兵庫県地域医療再生計画(北播磨地域:小児救急・周産期、救急医療等の総合的な診療機能体制の充実、医療人材育成システムの構築)

現状



【課題】

- 救急医療の脆弱化に対応した総合的な救急医療体制の充実が必要
- 小児救急、周産期医療の安定的提供体制の構築が必要
- 3次救急事案が神戸等他圏域へ搬送されている実態を踏まえ、救命救急機能の補完体制の整備が必要
- 同規模の公立病院が存立し、医師確保が困難となっており、病院間の連携が求められている。
- 医師不足の実態を踏まえて、圏域で医療人材の育成派遣の仕組みを構築することが必要

現状の医師養成・確保対策

- 医師養成事業 (養成数/年)
 - ・ 自治医科大学運営費負担金 (2~3名)
 - ・ 兵庫医科大学推薦入学制度 (5名)
 - ・ 地域医療支援医師修学資金制度

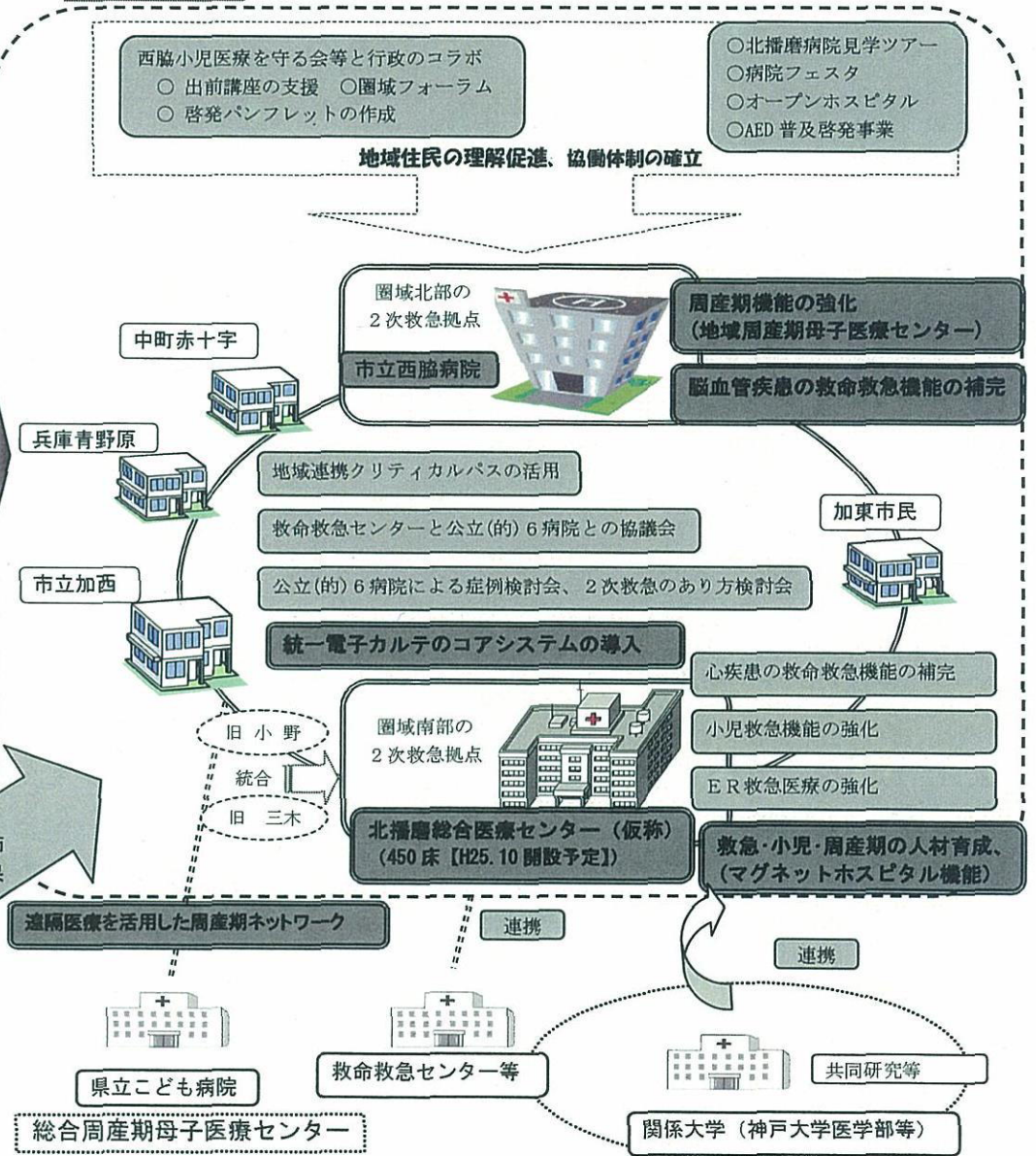
○ 医師確保事業

- ・ 研修医師(専攻医)県採用制度 (10名/年 募集)
- ・ 地域医師県採用制度 (20名/年 募集)
- ・ へき地医師確保特別事業 (寄附講座・4講座設置)
- ・ 医師派遣緊急促進事業
- ・ 女性医師再就業支援センター事業 (研修5名/年 募集)

新たな修学資金枠の創設

医師の地域偏在解消のための修学資金貸与制度
 → 神戸大学、岡山大学、鳥取大学と連携し、地域医療に従事する医師を養成 (毎年度7人)

実施後



医師確保